



令和3年10月13日(水)

学校だより 第99号



# 高槻だより



高槻小学校学校教育目標  
「心豊かで自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

目指す子どもの姿

た かい こころざしをもち  
つ よく き よらかな 子ども



【高槻っ子の4つの実践…あいさつ・がんばり・おもいやり・いのち】【新しい価値創造に挑戦する学校】

## 感染拡大防止&健康管理等へのご配慮をお願いいたします！！



## 本当にありがとうございます！！高槻の伝統！！



高槻小学校で、ホタル飼育が長年にわたって継続されているということは、誰もがご存知のことと思います。コロナ禍になり、子ども達が関わる事がほぼできない状態が続いています。しかし、このような状況の中でも、ホタルが生きていくための環境づくりやお世話をさせていただいている方がいるということも、ご存知のことと思います。地域の方の取組が、テレビで取り上げられましたが、毎日毎日のご努力があるからこそ、高槻小学校の伝統的体験学習が継続できています。10月を迎え、放流の時期を控え、改めて、感謝申し上げます。

### 【主体的・対話的で深い学び！！】

出典 文部科学省

昨日、リモート研修で受講したテーマです。これは、今の学習の在り方の方向（どのように学習活動を進めていくか等）を示しています。文部科学省の学習指導要領に書かれています。

①「主体的な学び」とは。

学ぶことに興味や関心を持ち、自分の進路や職業などの方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるような学びになっているかということ。

②「対話的な学び」とは。

子ども同士が目標を共有し力を合わせて活動をしたり、先生や地域の人との対話や先人の優れた考え方を手掛かりに考え、自分の考えを広げ深めるような学びになっているかということ。

③「深い学び」とは。

各教科等で、その教科等なりの「見方・考え方」を学ぶだけでなく、様々な教科等で学んだ見方・考え方を相互に関連付け、自分なりに問題を見だし解答を導きだせるような学びになっているかということ。



このように、子どもたちが能動的（アクティブ）に学び続ける「アクティブ・ラーニング」の視点から、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視して、学校の授業を改善していきます。子どもたちが学んだ一つ一つの知識がつながり、「わかった」「おもしろい」と思える授業、周りの人たちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業などを工夫して、子どもたちの資質・能力を育てていきます。

### 【高槻小スナッぷ☞お知らせしたい子ども達の様子！！ 4年 図画工作科の学習】

4年生の図画工作科学習です。この日は、木版画に取り組みました。4年生で初めて、彫刻刀を使った版画にチャレンジします。3年生で行った紙版画とは、全く違うので、子ども達もとても楽しみにしていたことでしょう。下地づくり（奉書紙にグラデーション等で、色づけをします。）も二人組で一生懸命に行っていました。子ども達から思わず、「わあ〜」という声が出ることが、楽しんでいることを表しています。



### 【校長室より☞高槻スポーツの日についてのお願い！！】

今週中に、もう少し詳細な内容をお知らせできると思いますが、これまで何度もお伝えしていますように、従来の運動会とは、内容も、時間も随分と違います。このような状況で実施するためです。どうぞ、ご理解ください。10月30日は、土曜日授業として実施することに変わりありません。